

## <小児科>

### 一般（教育）目標

小児を診療するのに必要な基礎知識、技能、態度を修得する。すなわち、子ども自身や小児診療、小児疾患の特性を学ぶことにより、プライマリ・ケアに必要な知識、技能、態度を身につける

### （具体的）行動目標

- (1) 患者、家族、医師関係  
子どもや家族と良好な人間関係を築くとともに、心理・社会的背景に配慮できる
- (2) 医療面接病歴聴取  
子どもや養育者との信頼関係に基づいて情報収集ができる
- (3) 身体診療  
年齢に応じた適切な手技による系統的診療にて、子どもの状態を観察し重症度を評価できる
- (4) 診断問題解決  
子どもの問題を病態、発育発達、心理社会的な側面から正しく把握できる
- (5) 診療技能  
単独あるいは指導医のもとで各種技能を実施できる
- (6) 臨床検査  
小児の特殊検査を含む臨床検査を指示し、結果を解釈できる
- (7) 治療  
年齢、性、重症度に応じた治療計画を立案できる
- (8) チーム医療  
医師、看護師、薬剤師、その他の医療職の役割を理解し、協調して医療ができる
- (9) 安全医療  
医療安全の基本的考え方を理解し、管理の方策を身につける
- (10) 診療録の記載  
問題解決志向型の診療録記載と退院要約を適切に作成できる

### 学習方略(1)

- (1) 上級医の指導のもとで入院患者および産科新生児の診療を行う
- (2) 木曜日の部長回診、月曜朝、毎日夕方のミニカンファレンスに参加し症例提示を行う
- (3) 上級医の指導により、小児疾患に関する各種検査を計画し実施する
- (4) 外来および救急外来診療において、迅速な初期対応を行い、上級医と相談しながら診療を進める

### 学習方略(2) 勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) 関連する科（産婦人科、間脳下垂体外科、内分泌代謝科など）との合同カンファレンスで担当患者の症例提示を行う
- (2) 興味を持った症例や病態に関して、自己学習した成果を発表する

### 週間予定

	月	火	水	木	金
朝	ミニカンファレンス	処置	処置	処置	処置
午前	病棟 産科新生児	病棟 産科新生児	病棟 産科新生児	病棟 産科新生児	病棟 産科新生児
午後	外来、育児相談	外来 腎エコー	外来 育児相談	部長回診 カンファレンス	外来 育児相談

### EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること